
岐阜県立岐山高等学校

校 長 園部 栄子
学校住所 岐阜市長良小山田 2587 番地 1
電 話 058-231-2905

1 会議の名称 岐阜県立岐山高等学校第2回学校評議員会及び学校関係者評価委員会

2 会議の構成 学校評議員（敬称略、五十音順）

内田 真樹	長良東民生委員・主任児童委員
河崎 哲嗣	岐阜大学教育学部数学教育講座 准教授
中村 君江	岐山高等学校PTA副会長
福田 真史	株式会社エフズアクセス代表取締役
若井 悟	岐山高等学校元同窓会長

（委員名は五十音順）

PTA役員（学校関係者評価委員、敬称略）

中矢 衛	PTA会長
鈴木 奈里	1年学年委員長
小林 恵美	2年学年委員長
野口 友美	3年学年委員長

学校関係者

園部 栄子	校長
上山 順子	事務部長
小林 雅彦	教頭
棚橋 武司	教頭
杉山 醇	教務主任
可知 誠	生徒指導主事
美濃輪智彦	進路指導主事
蓮見 雅宏	探究部長
島 浩一	記録（教務部）

3 会議の目的 学校運営及び教育活動等について、地域住民や関係機関の代表者等から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援や協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
評価活動を通じたコミュニケーションにより、保護者や地域住民と学校がお互いの理解を深める。また、学校の自己評価の客観性と透明性を高める。

4 会議の開催 令和3年2月8日（月）15：10～17：00
岐山高等学校 会議室
学校評議員4名、PTA役員2名、学校側9名が出席

5 会議の概要

- (1) 挨拶・移動
- (2) 科学トレーニング発表（1年理数科）参観
- (3) 学校長挨拶
- (4) 自己評価と課題について（教務、生徒指導、進路、探究、他）
- (5) 意見交換
- (6) 閉会の言葉

テーマ① 科学トレーニング発表会を参観して

- 意見 1 生徒が生き生きと発表する姿が素晴らしかった。質問に対しても、しっかりと答えていた。
- 意見 2 コロナ禍で時間のない状況を考えると、よくここまでの発表ができたと思う。教職員が生徒をよく見て指導しているのがよくわかった。本日の発表では、生徒がよく頑張っていた。
- 意見 3 本日のような発表活動は、新聞等を利用してもっと大々的に広報した方がよい。中学生へのアピールにもなる。

テーマ② 学校運営および教育活動全般

- 意見 1 新型コロナウイルスの影響により、みんなが混乱した1年であった。感染症が収束していないため、混乱は現在も続いており、困難な面が多い。新しいことを進めるよりも、現状を踏まえて少しずつ取り組んでいく必要がある。
- 意見 2 感染症の影響がある中でも、学校活動を継続していただいていることに感謝する。本校は落ち着いて勉強に取り組んでいるが、中学生からの人気を上昇させることが課題だと思う。理数科の良さを発信することも必要である。
- 意見 3 今年は、大学のオープンキャンパスが中止やオンライン開催となるなど、大学の様子や学部選択等について情報収集することが特に困難であったのではないかと。
→学部選択についての情報収集という面では、各学部で学べることが学部の名称だけでは不明確になってきており、情報収集の在り方が昔と異なってきているという困難さもある。
- 意見 4 4月の一斉休業となった状況下でも生徒は頑張っていたようだが、学習面での遅れを心配する生徒もいたのではないかと。
→年度当初は、自ら進んで学習をする生徒もいれば、そうでない生徒もいたようだが、年度後半になるにつれ、全体的に例年のような頑張りが見られた。土曜講座の受講者も1年生を中心に多くなっている。
- 意見 5 本校生徒が地域のボランティア活動に積極的に参加し、コミュニケーション能力等を発揮してくれた。学校では、勉強以外の大切な力も培われていると感じた。
- 意見 6 OBによるオンライン進路講演は、とても刺激になったと聞いている。中学生、高校生、そして保護者も進路についての意識は高く、キャリア教育は大切なので、今後も続けてほしい。

6 会議のまとめ

本日の御出席ありがとうございました。いただきました御意見を踏まえ、教育活動の更なる充実を目指していきたいと考えております。今年度の行事縮小は、生徒にとってつらい面も多くありましたが、次年度に向けて前向きに取り組んでいきたいと思っております。学校評議員会については、次年度以降は学校運営協議会という形に変わりますので、今後もよろしくお願いいたします。